

第155回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

日 時 令和元年12月17日(火) 午前10時～午前11時
場 所 603議室
出席者 6名
 峯岸正雄、芝勝治、高橋勝緒、渡辺康三、松田廣行、友國洋
傍聴者 なし
事務局 環境課 課長 亀井、主幹 加藤、塩野

1 開会

- 峯岸会長から開会のあいさつ

2 議題

- (1) 第2次環境基本計画実行計画【改訂版】平成30年度実施状況に対する評価(案)について

配布資料：第2次環境基本計画実行計画【改訂版】平成30年度実施状況に対する評価(案)の一部変更案(対照表)

・(会長) 前回会議の段階で評価がまとまったとの認識でいた。ところが今回、事務局である環境課から、我々がまだ聞いていない重要な部分があり、尚且つそれを盛り込んだ場合には我々の総合意見を変えていただかざるを得ないのではないかという意見の具申があったので、異例ではあるが、内容を聞いて我々の対応を決めたい。

・(事務局) まず、前回の「環境基本計画がどれだけ実行されたかということについて環境課は十分に把握し、より改善する方向に進めることを求めます」との一文を最終段落に加えてはどうかとの意見については、会長と調整の結果、加えないこととなった。評価と会議の中での意見は環境基本計画推進調整委員会の中で環境課がしっかりと伝え、庁内での共有を図り、施策の目標の達成につなげていく。

<事務局からの提案(評価内容の変更案)の説明>

① 2ページ目中段の第2項目、望ましい姿2「安全で住み良い環境を未来につなぐまち」の「地球温暖化対策の推進」については、5行目「意欲的な目標の達成に向け努力中」に現在の状況を加筆し、「意欲的な目標を示し、排出量は減少傾向にあり、達成に向け努力中」と変更。現在の状況を加筆する。一人あたりのCO₂排出量は、2009年段階で一人当たりの二酸化炭素排出量が3.8 t CO₂、これに対して2020年度の目標が2.8 t CO₂となっている。現在、最新の値が2016年現在で、3.2 t CO₂である。

② 第2項目第2段落3行目「環境施策として分類整理・位置付けや責任部署の明示化を急ぎ」との一文について「和光市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)【改訂版】」

では適応策の方向性として「農業、健康、水災害」の分類を挙げ、農業については、病虫害の防除方法や台風対策について農業者に発信し、健康については、和光市HPや広報にて熱中症対策にかかる情報を掲載し、注意を促し、また、水災害については、浸水被害が予測される場所をハザードマップで示し、災害時には、必要に応じて避難等の呼びかけをおこなっている。また、担当部署については改訂版の策定時に環境基本計画推進調整委員会の委員構成を見直し、関係課を加える等の対応を行っている。よって、分類整理・責任部署については記述をせず「環境施策として位置付けの明示化を急ぎ」と変更するほか、文章の整合性を保つ観点から段落全体に所要の修正を加えたい。

③最後に、第2項目の最終段落ですが「近頃脚光を浴びている海洋プラスチックごみ問題も」の部分について、平成30年度から埼玉県を含む九都県市でマイクロプラスチック問題に関して取組みが始まり、和光市としましても啓発等の協力を行っていくことから、文言を追加させていただきたいと考えている。

・(会長) 基本的には11月2日の全体会で環境課経由で提供された資料に基づいて平成30年度の総合評価をして、それが決まった後異例のことだが、まだ我々に伝達されていない事実があるので、それを盛り込んで若干の手直しをお願いしたいというのが今日の趣旨ということである。あくまで提供された資料に基づいて総合判断をしたわけだが、資料がもれていたということであれば、それを補充してより正確な総合意見にせざるを得ないかなとは思っているが、いかがか。

・情報をより詳しく書くというのは分かりやすくてよいと思う。ただ、字句として気になるのが、中段の「地球温暖化による悪影響に対する適応策の方向性として農業、健康、水災害が盛り込まれています。」という文章の「方向性」という言葉である。方向性というのはあくまで施策の方向性という意味になるので「分野」とするのが適切ではないか。

→(事務局) 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)【改訂版】の中で、適応策の方向性として示されているため、そのような記述にした。

・九都県市の記述については、情報をうまく出すという意味ではよいと思う。ただ、今回の評価に記述する内容として適切なのかは疑問に思う。県と首都圏の重要な市で構成されているもので、直接和光市と関わりがあるのか。ややこしくなってしまうので、もう少し分かりやすくしたほうがいいのでは。

→(事務局) ちょうど30年度に九都県市でマイクロプラスチック問題に取り組むということが決まったため、ご紹介をさせていただければという趣旨である。

→マイクロプラスチック限定なのか。

→(事務局) 九都県市の会議の議題としてはマイクロプラスチックとしてあったが、実際は海洋プラスチックごみ問題全体について啓発等行っていくようである。

→そんなに書き込まなくてもよいような気もするが、入っていても構わないと思う。

・(会長) 話は一つもどるが、指摘のあった「方向性」という言葉については、影響する「分野」としたほうが良いと感じる。

→そのほうが分かりやすいと思う。ここで書いてあることは「方向性」よりむしろ「分野」である。

→(事務局)「分野」に修正する。それ以外の部分は提案のとおりでよろしいか。

→(会長) 関連資料は事務局がそろえて提供されているが、今回提示された内容は資料をもらっていない。適当な時期に渡してほしい。資料をもらってこういった意見がまとまっているということでないでないと整合性がとれない。

→(事務局) 第2次環境基本計画と地球温暖化対策実行計画とで見直しの時期にずれがあり、環境基本計画の見直し時には新しい知見を盛り込めなかった。2月7日の市長・教育長との懇談会の際にご指摘の資料については提示させていただく。また、②以外の①・③の記述は提案のとおりでよろしいか。

→③のマイクロプラスチックという記述が気になる。

→(事務局) 削除したほうがよろしいか。

→海洋プラスチックごみ問題として大きくとらえるのが大事だと思うが、和光市が今後どういう取組みをしていくかが重要なので、今回の記述は別にあってもよい。

・(事務局) 地球温暖化対策実行計画(区域施策編)【改訂版】の中に温暖化に伴う適応策の方向性というのが見出しであったので、そこから引用してしまったため分かりづらい表現になってしまった。「方向性」を「分野」に変更するのであれば、表現を「地球温暖化の影響に対応するため、農業・健康・水災害の分野で市民への情報発信、啓発を実施しているとのことですが、いまだ不十分であると言わざるを得ません。」とすると伝わりやすいのではないか。

→すっきりしたと思います。

→分かりやすくなるならよいのでは。

→(事務局) では、「地球温暖化の影響に対応するため、農業、健康、水災害の分野で市民への情報発信、啓発を実施しているとのことですが、いまだ不十分であると言わざるを得ません。」と変更させていただく。

・(会長) では、皆さんに賛成いただいたので以上修正を盛り込んで、変更することにご了解ください。

(2) その他

◇ 温暖化について

・温暖化を防止するためには、電気の使用料を減らすこと。家庭で、10年前のエアコンを使っているということだとすると、今のエアコンは電気の使用量が半分くらいと効率が高くなっている。そういうことで電気の使用量を減らすことも、温暖化防止につながる。家を建てるときに、断熱効果の高い素材を使うとかいったこともやるとよい。電球もLEDに替えると長時間もつ。

・窓を複層化するのも断熱効果が上がるのでよい。

→ホームセンターで断熱効果を上げるため窓に貼るビニールシートが売っているのを見たことがある。

- ・家で太陽光発電を導入しているが、電力の買取価格がこれまでよりも安くなる。
- ・(1)の議題にもどるが、CO₂の排出量はどのような分野で減っているのか。街路灯のLED化などもカウントされるのか。LED化には費用がかかるのでためらう人もいるけれども、CO₂の削減にはLED化が必要だと思う。市が公共施設で進めると発信効果がある。イニシャルコストがかかるが、CO₂の削減になる。新しい建物は環境配慮になっていると思う。また、学校の屋上にLEDを取り付けて、その電気で校庭にスプリンクラーを付けて水を撒いて校庭の緑を世話するというのも提案されている。議会で学校のLED化が取り上げられた時に、踏み込んだ話にならず残念に思った。こういった意見交換をすることはとてもよい機会だと思う。
- ・市は、LED化などでの電力の削減効果を積極的に広報していくとよい。
- ・市が限られた予算で対応する時に、どこにお金を投入するのが効果が高いかの選別は必要だと思う。
- ・太陽光発電は夜間発電できないが、蓄電池との関係はどうか。

→性能がよく小型の蓄電池を作るのは難しいようだ。

- ・水素を作り活用するのは重要だと思う。

→外国のように太陽光発電をして作り出すのであればいいが、日本のように火力発電で作るのは効果が薄い。

- ・CO₂を固めて地下に貯留するケースがあるが、効果はどうか。

→技術が進み、地下で安定して保存できるようになればと思うが、保存をするのにエネルギーが多く使用されるのでは意味がない。全体のパワーバランスを考えなければならぬ。

- ・シェールガスは、炭酸ガスを吹き込んで天然ガスを取り出している。

→空気中のガスをためるのは難しいが、地中にまとまっている天然ガスは効率がいいのではないか。エネルギーを作るためにエネルギーを多く消費するというのは、格好がいいだけである。

3 閉会

次回 市長・教育長との懇談会

2月7日（金）午後4時から602会議室